

9月定例会議案審議結果

議案名	審議結果	
議案第 64 号	平成 27 年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第 65 号	平成 27 年度遠野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第 66 号	平成 27 年度遠野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第 67 号	平成 27 年度遠野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第 68 号	平成 27 年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第 69 号	平成 27 年度遠野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第 70 号	平成 27 年度遠野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全員賛成
議案第 71 号	平成 27 年度遠野市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	全員賛成
議案第 72 号	平成 27 年度遠野市水道事業会計決算の認定について	全員賛成
議案第 73 号	遠野市ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第 74 号	遠野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成
議案第 75 号	平成 28 年度遠野市一般会計補正予算（第 2 号）	全員賛成
議案第 76 号	平成 28 年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 77 号	平成 28 年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 78 号	平成 28 年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 79 号	平成 28 年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 80 号	平成 28 年度遠野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 81 号	平成 28 年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	全員賛成
議案第 82 号	平成 28 年度遠野市水道事業会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 83 号	平成 28 年度遠野市一般会計補正予算（第 3 号）	全員賛成
議案第 84 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（林 英道氏）	同意
発議案第 7 号	骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書の提出について	全員賛成
発議案第 8 号	介護保険制度における要介護軽度者への給付を継続することを求める意見書の提出について	全員賛成

声の議会だよりをお届けします

遠野市議会では、目の不自由な方にも市議会への理解と関心を深めていただくため、朗読ボランティア宮守のみなさんにご協力いただき、声の議会だより（CD・カセットテープ版）を作成し、貸し出します。

随時、申し込みを受け付けていますので、ご希望の方は遠野市議会事務局（電話番号 67-2111 内線 252）までお問い合わせください。

また、過去に発行した議会だよりもありますのでどうぞお気軽にご相談ください。



9月定例会

平成28年9月定例会が9月2日に招集され、15日までの14日間の会期で開かれました。今定例会では、一般質問には9人の議員が登壇し市政を問いました。提案された、平成27年度決算関係9件、平成28年度補正予算関係9件、人事案件1件、条例2件、その他2件の全23議案を原案のとおり認定可決しました。また、今定例会の最終日では、8月30日に発生した東日本豪雨（台風10号）に係る災害復旧費等の補正予算が追加提案され可決しました。

請願

◆請願第4号

介護保険制度における軽度者への給付を継続する旨の意見書を提出することを求める請願

【請願者】 福祉用具国民会議 中川 研人 (採択)

議員発議

今定例会では、2件の議員発議案（意見書

意見書

◆発議案第7号

骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書

骨髄バンク事業において、平成28年2月現在のドナー登録者数は45万人を越え、患者とのHLA適合率は9割を超えている一方で、その

うち移植に至るのは6割未満に留まっており、これはドナーの健康上の問題のほか、提供に伴う通院や入院等のため休暇を認めるか否かは、ドナーを雇用している事業主ごとに対応が異なることなどが要因になっている。

骨髄バンク事業では、ドナーの負担軽減に関して様々な取組が行われているが、ドナーが検査や入院等で病院に向かうなどして仕事を休業した場合の補償は行われておらず、ドナーが安心して骨髄等を多くの患者に提供できるような仕組みづくりが早急に求められている。

骨髄移植等の一層の推進を図るため、ドナーに対する支援を充実することを強く要望するため意見書を提出するものである。

(注) HLA適合率：赤血球の輸血の際には血液型を一致させる必要がある。同様に白血球をはじめとする全身の細胞にはヒト白血球抗原（HLA）と呼ばれる型があり、移植には患者とドナーのHLA型の一致する割合が関係してくる。

◆発議案第8号

介護保険制度における要介護軽度者への給付を継続することを求める意見書

昨年6月30日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」が可決施行されれば、介護保険サービスを受けている方々の多くが全額自己負担となり、生活維持のためにサービスの利用を断念することも危惧される。その結果は、介護度の重篤化を招き、逆に社会保障費全体が増大することにつながる。「要介護軽度者に対する給付の見直しを検討する」という基本方針は再考すべきであり、介護保険制度における要介護軽度者への給付の継続を求める意見書を提出しようとするものである。

これらの発議案の可決により、平成28年9月15日付けで、衆参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣あてに意見書を送付しました。